

こんにちは！日本共産党市会議員 玉本なるみです

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2024年7月②号



酷暑から市民の生命とくらしを守るための 緊急申し入れ

日本共産党市会議員団は、連日の猛暑で、市民の命が危ぶまれる状況にあることから、京都市として緊急に対策を取るよう市長に対して申し入れを行いました。

エアコンが付いていない部屋で死者が出るなど深刻な事態が起っています。物価高騰の影響もあり、電気代を節約する方もあり、危険な状況と言わざるを得ません。

<申し入れの内容>

- 一、熱中症から生命を守るため、電気代への支援を緊急に行うこと。
- 一、非課税世帯をはじめ生活困窮世帯への生活支援給付金を市独自に実施すること。
- 一、生活保護世帯への夏季見舞金を支給すること。
- 一、学校夏季休業中においても、就学援助世帯への給食費相当分を給付すること。
- 一、エアコンが設置されていない、もしくはエアコンが故障している生活保護利用世帯について エアコン設置・修理等の費用を助成すること。
- 一、水道料金・下水道使用料について減免制度を創設すること。
- 一、公共施設を積極的に開放してクールスポットを確保し、周知すること。 など



7月12日、市長宛の酷暑対策の申し入れ書を渡す。右から2番目：玉本市議

市の職員の不祥事が相次ぐ・・・。

最近の市議会の各委員会の審議では冒頭、市の幹部の陳謝から始まるが増えています。

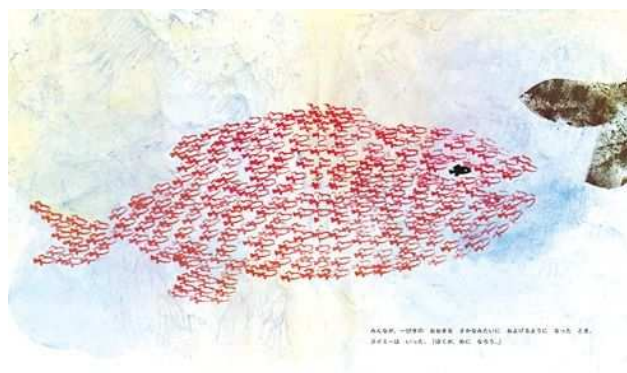
私の所属する環境福祉委員会では、生活保護事務において、不適切な事務処理が3年に渡って行われていたことについての報告がありましたが、冒頭、「誠にもうしわけありませんでした」と幹部職員が全員立って、頭を下げます。大事なのは今後、同じようなことが起きないように対策することです。職員削減による影響、職員の働きがいの減退があるのではないかと感じます。もちろん、多くの職員さんは頑張ってくれています。窃盗や盗撮など、許しがたい事態です。

トピックス：中京区の市議補欠選挙 6000万円？！

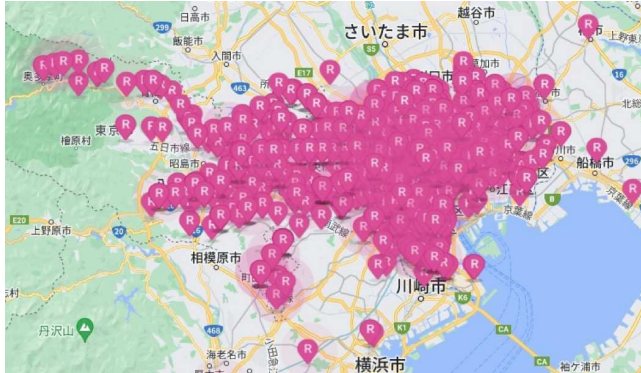
7月7日投票の中京区の市会議員補欠選挙は、日本維新の会の新人議員が辞職したため、急遽行われました。しかも、まともな説明は議会にも市民にもないままでしたので、多くの中京区民はなぜ、補欠選挙があるのか知らない方も多くありました。あまりにも市民に対して無責任と言わざるを得ません。選挙の費用として、**6000万円も補正予算**を組んでの選挙でした。**投票率29.66%**で3割にも満たない低投票率でした。

日本共産党からは中京区の日本共産党中京地区委員長の福井ひでとしさんが健闘しましたが、当選はできなくて残念でした。自民党に対する金権腐敗政治がはびこる中、自民党への不信感が多く聞かれましたが、当選は前市議の自民党の方が当選しました。

選挙は1票1票を争います。どんな状況下であっても、日本共産党なら任せて安心と思ってもらえるよう頑張りたいと思っています。



一人ひとりの力は小さいかもしれないけれど、力を集め、政治を変え、希望ある未来を作りたい！



「レオ・レオ」は、一人ひとりの力が集まると、大きな魚の形が一人街宣と似ていると話題になりました。

東京都の都知事選挙で話題を呼んだ「二人街宣」が、大勢で宣伝をするのではなく、プラカードを持って、駅前やスーパー前などで「二人で」アピールをするのです。なかなか勇気がいると思いますが、

スィミーのカ

アンテナ

